

2014年6月30日

各 位

株式会社 クレハ

株式会社 クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン

中国における電池材料販売子会社の営業開始について

株式会社クレハ（本社：東京都中央区、社長：小林 豊、以下「クレハ」）の子会社である株式会社クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン（本社：東京都中央区、社長：齊藤 太、以下「KBMJ」）は、中国におけるリチウムイオン電池材料の販売子会社として本年4月22日に設立した「呉羽電池材料（上海）有限公司」について、本年7月1日より営業開始することとしましたので、お知らせいたします。

記

<販売子会社の概要>

名 称：呉羽電池材料（上海）有限公司
所 在 地：中国（上海）自由貿易試験区泰谷路 169 号 A 楼一階 105 号
法人の形態：有限責任公司（外国法人独資）
資 本 金：60 万 US \$（KBMJ 100%出資）
設 立 日：2014 年 4 月 22 日
営業開始日：2014 年 7 月 1 日
事 業 目 的：中国国内でのリチウムイオン二次電池（以下、「LiB」）用バインダー（注 1）
およびハードカーボン負極材（注 2）の販売
役 員：執行董事／目黒 和広、総経理／齋藤 太希

注 1）バインダー～LiB において、正極ではアルミ箔に正極材を、負極では銅箔に負極材をそれぞれ塗布するときに使用する接着剤。携帯電話・端末やノートパソコンなどの民生用 LiB に加え、HEV などの車載用 LiB 向けにクレハが開発したフッ化ビニリデン樹脂（PVDF）が広く採用されています。

注 2）ハードカーボン負極材～充放電特性と耐久性に優れており、LiB 搭載の HEV を中心に採用されている石油ピッチ系ハードカーボン負極材（商品名『カーボトロン®P』）と、クレハ・グループとクラレ・グループが共同で開発・評価を進めている植物系ハードカーボン負極材（商品名『バイオカーボトロン®』）があります。

<設立の背景>

LiB は、民生用途での安定的な需要の伸びに加え、HEV、EV、PHEV 向けの車載用途や電力貯蔵用定置型電源用途などでの需要が急速に拡大することが見込まれています。とりわけ、大気汚染対策が求められる中国での車載向け LiB が、今後の LiB 市場の拡大の牽引役になるとみられています。こうした中、LiB メーカー各社と緊密な関係を有する K B M J が市場拡大の核となる中国で営業拠点を設けることは、市場の様々なニーズに対しスピーディーかつ的確に対応できるなど、技術サポートを含めカスタマーサービスの充実に寄与するものです。

現在、クレハ・グループは、バインダー用途を主とするフッ化ビニリデン樹脂 (PVDF) の製造設備として、クレハ・いわき事業所内 (福島県) に年産 40 百トンの設備を保有していますが、今後の需要拡大と原料の安定確保に対応すべく、呉羽 (常熟) 氟材料有限公司 (※ 氟=フッ素、所在地：中華人民共和国江蘇省常熟市常熟新材料産業園) において年産 5 千トンの製造設備の建設を完了させ、本年 4 月より試運転に入っております。今後、クレハ・グループは、日本と中国の二つの製造拠点を有機的・効率的に稼働させ、バインダーのトップサプライヤーとしての地位を盤石なものとしてまいります。

また、クレハ・グループは、ハードカーボン負極材『カーボトロン®P』の年産 16 百トンの製造設備をクレハ・いわき事業所内に有しております。すでに供給中あるいは評価中の国内外の LiB メーカーとの取引深耕に加え、本年 4 月にクラレ・グループとの共同で開発中の『バイオカーボトロン®』(本年 4 月に年産 10 百トンの製造設備完成) の評価推進も含め、中国に拠点を有する LiB メーカーとの関係構築に努めてまいります。

(ご参考)

株式会社クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンの概要

代表者	齊藤 太
資本金	1,039 百万円 (株式会社クレハ 50.1%、伊藤忠商事株式会社 20%、 株式会社クラレ 20%、株式会社産業革新機構 9.9%)
設立日	2011 年 4 月 5 日
事業内容	LiB 用負極材の製造・販売および LiB 用バインダーの販売
本社所在地	東京都中央区日本橋浜町 3 丁目 3 番 2 号

以上

【本資料に関するお問い合わせ先】株式会社クレハ 広報・I R 部 TEL : 03-3249-4651